

気候変動シンポジウム

－ 激変する地球と災害リスク －

参加費無料
事前申込み不要
＊要旨集有料
(一般 1,000 円, 学生 500 円)

2018年 3月17日 (土)
13:00-17:50 (12:30開場)

横浜国立大学 教育文化ホール (大集会室)
日本地質学会関東支部・横浜国立大学都市科学部 共催

近年問題となる温暖化や集中豪雨等がもたらす災害リスクへの対応およびその備え、また過去の地球変動に関する最新の知見についても広く議論するため、「気候変動シンポジウム」を開催いたします。
研究者、実務者、自治体関係者、一般の皆さまの幅広いご参加をお待ちしております。(*CPD5単位取得可能)

プログラム (予定)

12:30- 開場・受付

13:00-13:05 開会挨拶 佐土原聡 (横浜国立大学・都市科学部学部長)

13:05-13:45 「気候変動の季節予測とその応用」
野中正見 (海洋研究開発機構・チームリーダー)

13:45-14:15 「太陽活動の気候影響 ～数十日スケールから千年スケールまで～」
宮原ひろ子 (武蔵野美術大学・准教授)

14:15-14:45 「極域のアイスコアから明らかになってきた過去の気候・環境変動」
本山秀明 (国立極地研究所・教授)

14:45-15:15 「“気候変動”などのイベントはどの程度地層に残されるのか？
－横浜の第四紀の地層を例として－」
間嶋隆一 (横浜国立大学・教授)

15:15-15:30 休憩

15:30-16:00 「世界初！台風ハザードマップの開発」
筆保弘徳 (横浜国立大学・准教授)

16:00-16:30 「気候変動と土砂災害」
石川芳治 (東京農工大学・名誉教授)

16:30-17:00 「Local adaptation and risk reduction: Need for demand driven innovation」
Rajib SHAW (慶應義塾大学・教授)

17:00-17:30 「21世紀の気候変動予測」
丸山茂徳 (東京工業大学地球生命研究所・特命教授)

17:30-17:45 総合討論

17:45-17:50 閉会挨拶 有馬眞 (日本地質学会関東支部・支部長)
司会進行 山本伸次 (横浜国立大学・准教授)

*終了後、大学会館 3F にて懇親会を予定しています (事前申込制 3,000 円当日払い)
申し込みは E メールにて 3 月 10 日までに kanto@geosociety.jp へご連絡ください (氏名、所属を記入)

問い合わせ先：

横浜国立大学 山本伸次
yamamoto-shinji-sp@ynu.ac.jp

日本地質学会関東支部
kanto@geosociety.jp
<http://kanto.geosociety.jp/>

会場案内：横浜国立大学教育文化ホール

横浜市営地下鉄三沢上町駅より徒歩 16 分
相鉄線和田町駅より徒歩 20 分

アクセス案内・キャンパスマップ
<http://www.ynu.ac.jp/access/>



横浜国大アクセス案内